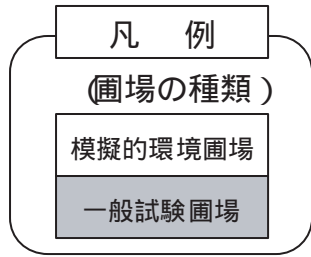


独立行政法人における組換え作物の実験状況（平成15年度）

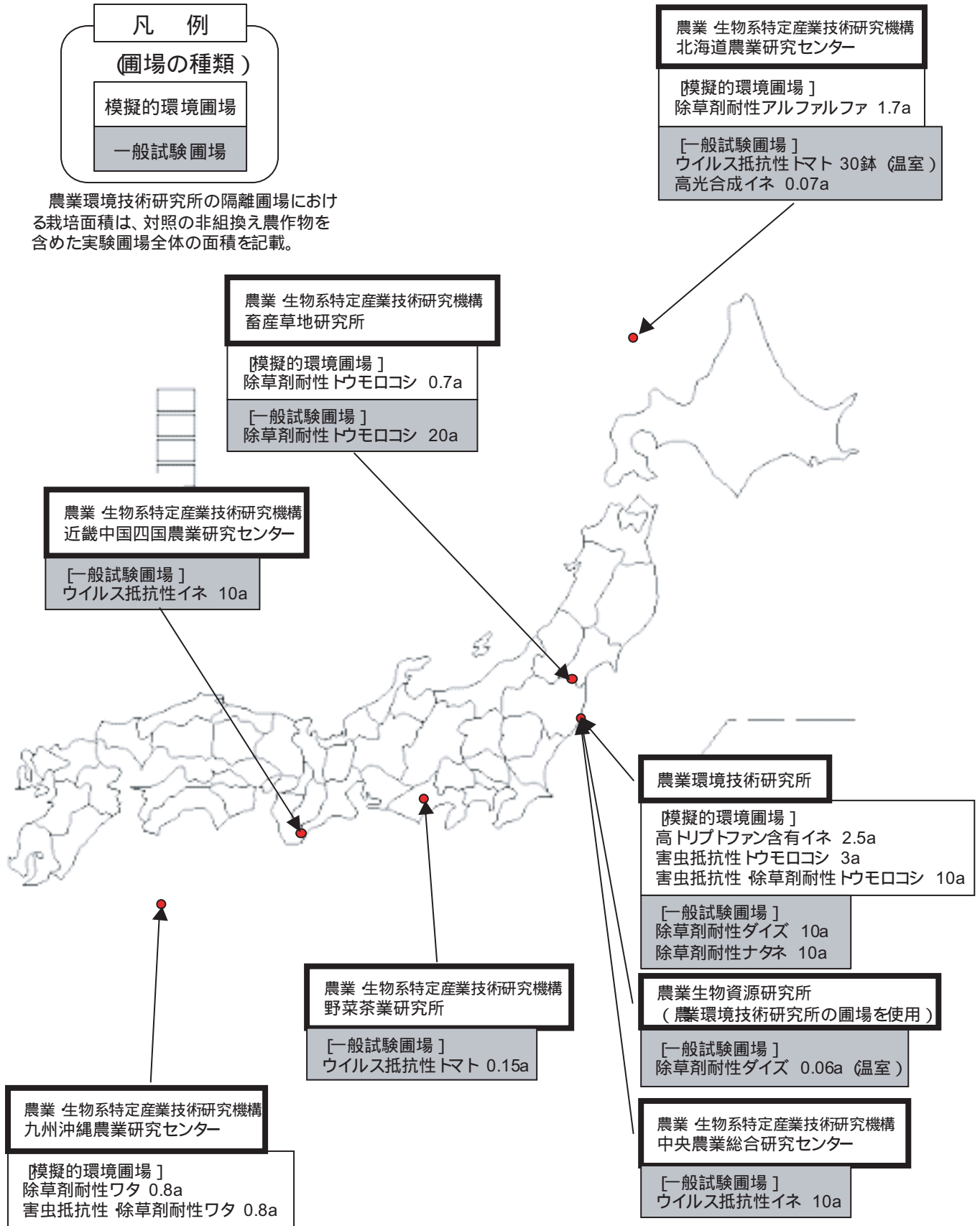
作物の種類	使用組換え作物名	実施研究所名	備考
イネ	高トリプトファン含有イネ	農業環境技術研究所	模擬的環境 圃場
	高光合成イネ	北海道農業研究センター	一般試験圃場
	イネ縞葉枯ウイルス抵抗性 イネ	中央農業総合研究センター 近畿中国四国農業研究セン ター	
	小計	4カ所	
ダイズ	除草剤耐性ダイズ	農業環境技術研究所 農業生物資源研究所	一般試験圃場
	小計	2カ所	
トウモロコシ	害虫抵抗性トウモロコシ	農業環境技術研究所	模擬的環境 圃場
	害虫抵抗性・除草剤耐性ト ウモロコシ	農業環境技術研究所	
	除草剤耐性トウモロコシ	畜産草地研究所 畜産草地研究所	一般試験圃場
	小計	4カ所	
ナタネ	除草剤耐性ナタネ	農業環境技術研究所	一般試験圃場
アルファルファ	除草剤耐性アルファルファ	北海道農業研究センター	模擬的環境 圃場
ワタ	除草剤耐性ワタ	九州沖縄農業研究センター	模擬的環境 圃場
	害虫抵抗性・除草剤耐性ワ タ	九州沖縄農業研究センター	
	小計	2カ所	
トマト	キュウリモザイクウイルス 抵抗性トマト	北海道農業研究センター 野菜茶業研究所	一般試験圃場
	小計	2カ所	
7作物	12種類	3法人8研究所16カ所	

農林水産分野等における組換え体の利用のための指針において、環境安全性の確認を受けたもの

独立行政法人における組換え農作物の実験状況 (平成 15年度)



農業環境技術研究所の隔離圃場における栽培面積は、対照の非組換え農作物を含めた実験圃場全体の面積を記載。



組換え農作物の長期栽培による環境への影響モニタリングの 平成13年度～15年度の実施内容

1 目的・実施内容

我が国における組換え農作物の環境に対する安全性の確保については、従来より最新の科学的知見に基づき、その安全性評価の充実に努めてきたところであるが、組換え体をめぐる国際情勢の急速な展開や安全性に対する国民の関心の高まりを受け、さらに安全性に関する科学的知見の蓄積及び評価手法の高度化が急務となっている。

このため、我が国の一般ほ場で栽培が承認されている組換え農作物と比較対照の非組換え農作物を長期に栽培して、環境影響に関する知見を収集する。

対象農作物	開発者	実施機関
<u>イネ縞葉枯ウイルス抵抗性 イネ（キヌヒカリ）</u>	農業環境技術研究所 (株)植物工学研究所	農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センター
		農業・生物系特定産業技術研究機構 近畿中国四国農業研究センター
<u>除草剤耐性トウモロコシ</u>	モンサント社	農業・生物系特定産業技術研究機構 畜産草地研究所
<u>除草剤耐性ダイズ</u>	モンサント社	農業環境技術研究所
<u>除草剤耐性ナタネ</u>	モンサント社	農業環境技術研究所

（注）遺伝子組換え体の産業利用における安全性確保総合研究の一部

2 調査内容

組換え農作物と非組換え農作物を一般ほ場で長期栽培し、そこに生育・生息する植物、昆虫、土壌微生物等の生物相に及ぼす影響をモニタリングすることにより、組換え農作物と非組換え農作物の環境への影響を比較検討する。